

SPA 500シリーズIP Phoneでのアテンダントコンソールの一般設定

目的

アテンダントコンソールは、SPA500シリーズIP Phone用のアドオンデバイスで、電話機に最大32個のプログラム可能なボタンを追加できます。アテンダントコンソールの一般的な設定では、ビジーランプフィールドリスト(BLF)Uniform Resource Identifier(URI)、コールパーキング、およびアテンダントコンソールの表示設定を使用できます。

このドキュメントの目的は、SPA500シリーズIP Phoneでアテンダントコンソールの一般設定を行う方法を示すことです。

該当するデバイス | ファームウェアのバージョン

- SPA500シリーズIP電話 | 7.5.3 (最新の[ダウンロード](#))

Webインターフェイスでのアテンダントコンソールの一般設定

ステップ1: Web設定ユーティリティにログインし、[Admin Login] > [Advanced] > [Attendant Console] > [General]を選択します。

| General | | | |
|-----------------------------------|------|-------------------------------------|-----------|
| Subscribe Expires: | 1800 | Subscribe Retry Interval: | 30 |
| Unit 1 Enable: | yes | Subscribe Delay: | 1 |
| Unit 2 Enable: | yes | Server Type: | Broadsoft |
| Test Mode Enable: | no | Attendant Console Call Pickup Code: | *98 |
| Attendant Console Call Park Code: | *68 | Attendant Console Call unPark Code: | *88 |
| BLF List URI: | | | |
| Call Pickup Audio Notification: | no | Attendant Console Font Size: | 10 |
| Attendant Console LCD Contrast: | 7 | | |

ステップ2:[Subscribe Expires] フィールドに、電話機へのアテンダントコンソール接続が期限切れになるまでの時間 (秒) を入力します。デフォルト値は 1800 です。

ステップ3:[Subscribe Retry Interval]フィールドに、アテンダントコンソールがサブスクリプションの失敗後に待機する時間 (秒) を入力します。デフォルトは 30 です。

ステップ4:[Unit 1 Enable]ドロップダウンリストから、[Yes]を選択して最初のアテンダントコンソールを有効にするか、[No]を選択して最初のアテンダントコンソールを無効にします。デフォルトは[Yes]です。

ステップ5:[Subscribe Delay]フィールドに、アテンダントコンソールがサブスクライブを試行するまでの待機時間 (秒) を入力します。デフォルトは 1 です。

ステップ6:[Unit 2 Enable]ドロップダウンリストから[Yes]を選択して2番目のアテンダントコンソールを有効にするか、[No]を選択して2番目のアテンダントコンソールを無効にします。デフォルトは[Yes]です。

ステップ7:[Server Type]ドロップダウンリストから、電話機が接続されているサーバタイプを選択します。

- Broadsoft:Windowsシステムと互換性のあるVoice over IP(VoIP)サーバソフトウェアまたはハードウェア。
- Asterisk:Linuxシステムと互換性のある無料のVoIPサーバソフトウェア。
- SPA9000:VoIPをサポートするスタンドアロンのシスコデバイス。
- Syllantro:Windowsシステムと互換性のあるVoIPサーバソフトウェア。

ステップ8:[Test Mode]ドロップダウンリストから、[Yes]または[No]を選択します。

- [はい(Yes)] : アテンダントコンソールでテストモードを有効にします。これにより、アテンダントコンソールのボタンのテストが可能になります。ボタンを押すと、ボタンが赤、緑、オレンジ、最後にオフになります。すべてのボタンがオンまたはオフになると、電話機とコンソールがリブートし、テストモードが無効になります。
- [No] : アテンダントコンソールのテストモードを無効にします。

ステップ9:[Attendant Console Call Pickup Code]フィールドに、呼び出し中のコールをピックアップするように設定されているスターコードを入力します。デフォルトは*98です。

ステップ10:[アテンダントコンソールのコールパークコード(Attendant Console Call Park Code)]フィールドに、コールを保留にするように設定されているスターコードを入力します。デフォルトは*68です。

ステップ11:[Attendant Console Call unPark Code]フィールドに、保留コールを解除するように設定されているスターコードを入力します。デフォルトは*88です。

| General | | | |
|-----------------------------------|-----------------|-------------------------------------|-----------|
| Subscribe Expires: | 1800 | Subscribe Retry Interval: | 30 |
| Unit 1 Enable: | yes | Subscribe Delay: | 1 |
| Unit 2 Enable: | yes | Server Type: | Broadsoft |
| Test Mode Enable: | no | Attendant Console Call Pickup Code: | *98 |
| Attendant Console Call Park Code: | *68 | Attendant Console Call unPark Code: | *88 |
| BLF List URI: | listname@server | | |
| Call Pickup Audio Notification: | no | Attendant Console Font Size: | 10 |
| Attendant Console LCD Contrast: | 7 | | |

ステップ12:[BLFリストURI]フィールドで、電話機がBLFリストを受信するサーバのBLFリスト名とUniform Resource Identifier(URI)を入力します。URIは、サーバの名前を識別する文字列です。このフィールドは、サーバでBLFリストが設定されている場合にのみ使用してください。

ステップ13:[コールピックアップオーディオ通知(Call Pickup Audio Notification)]ドロップダウンリストから、[はい(Yes)]または[いいえ(No)]を選択します。

- [はい(Yes)] : コールピックアップによってモニタされている回線に着信コールがある場合に、コールピックアップトーンが有効になります
- [いいえ(No)] : コールピックアップトーンを無効にします。

ステップ14:[Attendant Console Font Size]ドロップダウンリストから、サイズ10または12を選択します。これにより、アテンダントコンソールのディスプレイ上のフォントのサイズが変わります。

ステップ15:[アテンダントコンソールLCDコントラスト]フィールドで、アテンダントディスプレイのコントラストに1 ~ 30の範囲の数値を入力します。1はコントラストが最も低く、30は最もコントラストが高い。